〔節・春〕の花や 月は東に 日は西に

〔節・春〕すずめの子　そこのけそこのけ　お馬が通る

〔節・夏〕かさや 岩にしみ入る の声

〔節・夏〕を　めてはやし　川

〔節・秋〕名月を つてくれろと なく子かな

〔節・秋〕食えば　が鳴るなり　寺

〔節・冬〕うつくしや 年れきりし 夜の空

〔節・冬〕うまさうな　雪がふうはり　ふわりかな

二　右のから一番きなをんで（　　）に○をつけ、そのからイメージする絵をかきましょう。

1　次のを声に出して読んで、五・七・五のリズムを楽しみ、どんながえがかれているかしましょう。

ゴール　の言葉のきやリズムに親しみ、音読をしよう。

言

４①

に親しむ

 年 　 組

・をリズムよく読むことができた。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（　　）

・にどんな様子がえがかれているかし、イメージを絵にかくことができた。　　（　　）

ふりかえり

言・４　短歌や俳句などの言葉の響きやリズムに親しみ、音読をする。

 （　　）

　（　　）

 （　　）

　（　　）

 （　　）

　（　　）

 （　　）

　（　　）

は、戸時（今から４００年ほど前）にはとよばれていました。

五音・七音・五音の合計十七音のい形の中に、をす「語」をよみこんでいます。



〔節・春〕の花や 月は東に 日は西に

〔節・春〕すずめの子　そこのけそこのけ　お馬が通る

〔節・夏〕かさや 岩にしみ入る の声

〔節・夏〕を　めてはやし　川

〔節・秋〕名月を つてくれろと なく子かな

〔節・秋〕食えば　が鳴るなり　寺

〔節・冬〕うつくしや 年れきりし 夜の空

〔節・冬〕うまさうな　雪がふうはり　ふわりかな

二　右のから一番きなをんで（　　）に○をつけ、そのからイメージする絵をかきましょう。

1　次のを声に出して読んで、五・七・五のリズムを楽しみ、どんながえがかれているかしましょう。

ゴール　の言葉のきやリズムに親しみ、音読をしよう。

言

４①

に親しむ

 解　答　例

例

・をリズムよく読むことができた。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（　　）

・にどんな様子がえがかれているかし、イメージを絵にかくことができた。　　（　　）

ふりかえり

・俳句を読んで、あなたが想像し

た様子がわかる絵を自由に書き

ましょう。

・色えんぴつで、色もきれいにぬり

ましょう。

言・４　短歌や俳句などの言葉の響きやリズムに親しみ、音読をする。

 （　　）

　（　　）

 （　　）

　（　　）

 （　　）

　（　　）

 （　　）

　（　　）

は、戸時（今から４００年ほど前）にはとよばれていました。

五音・七音・五音の合計十七音のい形の中に、をす「語」をよみこんでいます。

